

LIFEをLIVEに。 なぜ、今パフォーマンスなのか？

CCCパフォーマンスアート コーディネーター 柚木 康裕

パフォーマンス (Performing Arts) という言葉をご存知でしょうか。一般的には舞台芸術と訳され、演劇、ダンスなど個人あるいは集団での身体が伴った行為を作品とする芸術表現です。ただ日本語に訳した時に「舞台」という文字を当てがっているのが、舞台上で装飾や照明を施された「公演」を想定していることが推測できます。ここには日本の伝統芸能である能や歌舞伎も含まれるでしょう。

しかし、パフォーマンス (perform) という文字にはそのような限定はなく、「行為」があれば舞台上でなくても構わないとも言えます。例えば静岡では馴染みのある大道芸は路上で行われますが、これも立派なパフォーマンスと呼ぶことが出来るでしょう。ただ微妙なのは大道芸は英語では「ストリートパフォーマンス (Street performance)」と呼び、アーツ (Arts) が抜け落ちてしまうことです。これは何を意味しているのでしょうか。そこには厄介な「芸術」のヒエラルキーが潜んでいるように感じます。舞台上で行われれば「アーツ (Arts)」と呼ばれ、路上では呼ばないというように。おおよそ「パフォーマンス (Performing Arts)」という言葉が生まれた背景には美術 / 純粋芸術 (Fine Arts) との対比があったのだと思います。ゆえにここには「舞台」という文字が採用されたのでしょう。つまり「芸術」を特権化 (純粋なるもの) する意識が見え隠れします。

特権化された高尚なる「芸術」は、市井の人たちからしたら敷居の高いものとして、存在を認めながらも関わりのないものという意識を生むでしょう。新型コロナ感染症拡大初期における「芸術」の不要不急論もそうした意識の帰結なのかもしれません。

もっとも、コロナ禍が3年以上に及びこんにちでさえ、人々の表現活動や鑑賞への希求は止まることはありませんでした。「芸術」と呼ぶにせよ呼ばないにせよ、このような「表現行為」が人々の日常の営みに欠かさないもの、暮らしの活力となることを示しているのではないのでしょうか。静岡市が第3次総合計画の5大構想として推し進めている施策のひとつに「まちは劇場」があります。すべての市民が輝ける舞台として日常を過ごせる街の実現というような壮大なコンセプトだと理解し、私たちCCCも一翼を担うべく活動しています。「まちは劇場」の戦術としてパフォーマンスは重要な役割を与えられています。しかし、それが特権化された「芸術」だとしたら、おそらく十全に役割を全うできません。そうではなく誰もがアクセスでき、演者にでも観客にでも分け隔てなく経験できるものでなければいけません。静岡市のパフォーマンスアーツとは、日常の表現行為を通じて文字通り「生活」に直結していくべきでしょう。「生活」とは絶え間ない瞬間の連続です。つまりは"ing"であること。パフォーマンス (perform+ing arts) を通じて、生活をみずみずしく「ing/ 遂行」的に押し進めることで、より自分らしい表現が生まれ、多様な生き方を尊重できる環境を生み出す。もちろん簡単なことではなく、時間も掛かることですが、私たちCCCは豊かな地域社会を目指して歩を進めていきます。

(初出「クリエイターズNOW」(2021)を一部書き直した文章です)



NEWS

VOL.26

SEP.2022



Yasuhiro Yunoki

柚木 康裕 (ゆのき・やすひろ)

株式会社オフィスノド代表。CCCコーディネーター。パフォーマンスアーツのウェブメディア「cocommons」編集長。静岡の地域寄席「七間町寄席」代表。芸術文化に関する企画運営やパフォーマンスアーツと社会をつなぐプロジェクトなどを通して、地域、世界のつながりと豊かさの創造に取り組んでいる。



プロジェクション作品で迫力ある空間を演出！
Cover Photo: YUSUKE YAMAMOTO (U+)

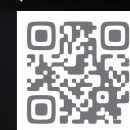
NFTアート「動く墨絵」 静岡から世界に広がるNY_氏の展覧会を開催！

8/5~9/4 NY_Solo Exhibition

メディアアートの世界でも今注目の NFT アートの展覧会を開催しました。作家は静岡出身のアーティスト NY_氏。NFT が広がる前からメディアアーティストとしてさまざまな創作をおこなう中で「動く墨絵」というフィジカルな墨絵とコンピューターグラフィクスを組み合わせた動画の作品は、世界唯一と言えるかもしれません。展覧会の1階ギャラリーでは額縁に入れた作品の展示。2階は大型プロジェクション作品を展示しました。大型プロジェクション作品は壁の1面を超え天井にまでひろがる映像で没入感もあり、椅子に座りずっと眺めているお客様も多くいらっしゃいました。NFTアートという新しい表現方法、価値観に注目も高い展覧会でした。



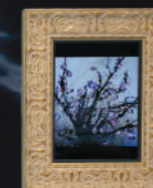
作家
プロフィール



9/4トークイベント「NFTアートのNOW&未来」



NY_氏のメディアアーティストとしての軌跡と NFT アートに出会った時のエピソード。また、現在の作品制作や映像技術の進化についてお話しいただきました。さらに、NFTを中心としたこれからのビジネスの可能性についてもお話しいただきました。

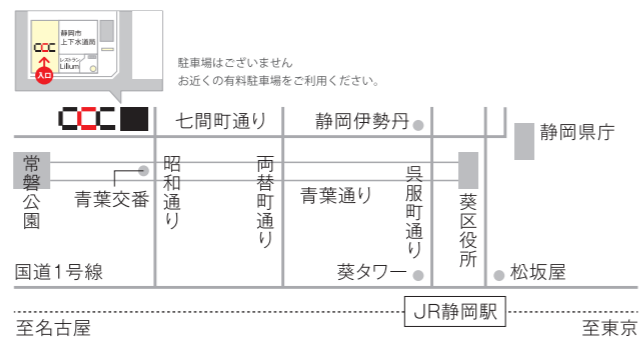


世界初！
額縁に入れた NFT アート作品
左: trajectory_III
右: light003

お問い合わせは、お電話またはEメールにて
静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター
〒420-0035 静岡市葵区七間町15番地の1 TEL.054-205-4750 FAX.054-260-4550
info@c-c-c.or.jp https://www.c-c-c.or.jp/
開館時間/午前10時~午後9時
休館日/毎週月曜日および12月29日~1月3日 ※月曜日が祝日の場合、翌日以降の最初の休日以外の日

クリエイティブを、育む、活かす、魅せる。
the center for creative communications

ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。
■JR静岡駅より徒歩約14分 ■静鉄新静岡駅より徒歩約13分
■静鉄ジャストライン「興行・静岡市役所葵区役所前」停留所より徒歩約8分、「七間町」停留所より徒歩約2分



Instagram



Homepage

01
6/25~7/24
「静岡のすごい技、見せます。自分時間を楽しむ
アート・クラフト・ホビー展」を開催

6月25日から7月24日まで開催した「静岡のすごい技」シリーズ第4弾は、自分時間を大切に、その過ごし方を楽しむことに注目して、模型・アート・クラフト・園芸・ペットなどに関連した地元メーカー11社による製品とパネル展示を行いました。またクリエイター3人によるメーカーとのコラボレーション作品の展示および子供から大人まで楽しめるワークショップを開催しました。



展示ギャラリーの様子

子供から大人までものづくりを楽しめるWS

02
9/3、9/4
公募で集まった学生9名と取り組んだ
演劇創作プロジェクト『わが星』の公演を開催

9月3日(土)、4日(日)に各日1回ずつ上演。6月から始まった稽古はコロナ感染症拡大や夏の酷暑もあり困難を極めました。出演者の努力や関係者の献身的なサポートが実り実現に至りました。両公演ともに満員のお客様が詰めかけて、良い雰囲気の中で彼女たちはお互いを助け合い持てる力を出し尽くし、臆することなく堂々と演じました。その姿に終演後は多くの方から感動の言葉を頂きました。



時報に合わせてラップ調に台詞を語る演出

大盛況となった2日間、おつかれさまでした!

03
9/11~10/10
CCC公募展 NEXTクリエイター・キャッチアップ 2022 入選者展覧会 第二弾開催!

1F 池田ひとみ 「糸系模写」

糸を編み作品を制作している池田さんが「形態模写」をもじった「糸系模写」がテーマとした展覧会を開催。今回手編みしたニットを石膏や樹脂に浸し、型取りをした新作の彫刻作品を約15点展示しています。その他、かぎ針で編んだレース生地を人やねこの形に樹脂製形した作品はまさに抜け殻のようです。記憶の層として糸で形を作り保存していきたいと池田さんは言います。ぜひ、手芸と美術のつながる世界を間近に感じてください!



池田ひとみさん

2F 笹埜八郎 「無人販売と野菜たち」

美術家の笹埜さんは、今回無人販売をテーマに、擬人化した野菜たちが様々な箇所へ旅する様子を描いた絵画作品を展示。キャプションにつけられたQRコードを読み取ると地図が開かれ、場所を知ることができます。また、実際にパッチを購入出来る無人販売や、コインの絵柄を描けるコーナーもあり、来場者が楽しめる仕掛けも。ぜひ無人販売を通して人のぬくもりや地域との繋がりを感じてください!



笹埜八郎さん

10/16-11/20
未来茶会展
クリエイターと茶匠による
未来のお茶スタイルの提案

「お茶」と「クリエイティブ」を掛け合わせて静岡茶の新しい価値を創ること、そしてそれに接点を持つ多くの方を巻き込みながら発信していくこと。これがこの展示会のコンセプトです。お茶は高機能を持つ食品として世界的な健康ブームと共にその需要が伸び、また、コロナ禍では癒しを与えてくれるおうち需要のアイテムとして注目されています。本展では、単なる食品としてだけではなく、クリエイティブで感性豊かに内面を満たしてくれるお茶の新しい側面を探り、「静岡茶の新しい価値」を投げかけていきます。1F ギャラリーでは、多分野に及ぶクリエイターと静岡の茶匠から成る6チームが「未来のお茶」をテーマに半年にわたりコラボレーションして作り挙げた作品を展示します。さらに、静岡のお茶をテーマに独自な展開をしているメディア、旅行代理店の活動やモノづくりメーカー、リテイラーの製品を紹介します。お茶の香りも体験できます。2F ギャラリーでは、「アナログとデジタルの間で」をテーマに、LEDバーを活用したデジタル・インスタレーション(内田電太)とアナログ的な紙の彫刻(三枝文子)が織り成す未来空間が体験できます。茶会では、その未来空間の中で、茶匠とクリエイター、そしてトルタ作家による新しいお茶スタイルの「未来茶会」を体験できます。茶会が開催されない日には、未来のテーブルコーディネート展示がご覧いただけます。茶会は日程が設定されており、事前申し込み制です。10月1日から、その申し込みがスタートしますので、バラエティーに富んだ「新しいお茶のスタイル」をぜひ、ご体験ください。

茶匠とクリエイターの未来茶会

10/16(日) どこでも茶屋 mobile tea stand おもてなし	10/30(日) YOGAする 和ハーブ緑茶	11/4(金) 光彩逢茶 (ごうさいほうちゃ)	11/5(土) irodorū ふわり香るお茶会	11/6(日) 茶文 (ちやぶみ)	11/20(日) 茶の木 茶会	10/22(土) 11/3(木祝) タイムマシーン茶会 未来スイッチをいれる マイブレンド茶
---	------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-------------------------	--------------------	--

10/1 10:00-
お申込みスタート!
[各茶会参加費1000円]

↑お申込みはこちらから!

今年のクリスマスは、光の演出×プログラミング!

11/26~12/25 クリスマス・プロジェクションマッピング

HUB登録クリエイター森藤めぐみさんの切り絵のイラストと Novita 内田電太氏のプログラミングにより制作されたメディアアートの、光の演出が始まります。11月下旬から、水道局庁舎ピロティで開催予定。お楽しみに!



森藤めぐみさん

内田電太さん

公募展第三弾はこの2組! 次回もお楽しみに!

11/26~12/25 公募展入選者展覧会

アートインストラクター/クリエイター 煌ゆりさんによる「食」をテーマに古紙や羊毛フェルトを使用した作品が並ぶ「鳥の歌よりパンがいい」と、詩人たいいりょうさんと美術家山本薫夫さんによる言葉と絵画の展示「ふたつの景色」を開催します。お楽しみに!



1F 煌ゆり 個展
「鳥の歌よりパンがいい」

2F たいいりょう・山本薫夫
「ふたつの景色」

地元クリエイターのデータベース「CCCクリエイターズHUB」新登録クリエイター紹介!



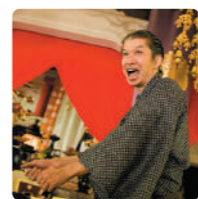
IK DESIGN
グラフィック
染色
生活雑貨や靴下の企業でデザイナーを経て、現在はホームページやパンフレット等のイラストを担当したり、雑貨の柄デザイン、パッケージデザインを行っている。



池田ひとみさん
造形作家
編み物の手法を使って展示空間に対して幕のようなニットを空中に吊るしたインスタレーションを構築しています。近年では、「糸系模写」シリーズを展開し手芸と美術の領域の横断を試みている。



東 悠紀恵さん
イラスト
造形作家
「見ても触っても本物そっくり?!」と驚いてしまうような虫を植物を使って制作しています。虫たちの姿をリアルに美しく愛らしく再現しています。



佐藤剛史さん
劇作家
演出家
活動は演劇の舞台制作が中心ですが、「様々な年代の人たちの作品作り」「他分野での演劇を使った企画」「多くのイベントの裏方(スタッフ・実行委員)からパフォーマーまで」など経験は豊富です。



笹埜八郎さん
絵画
造形作家
日常的な生活や身のまわりの風景の中から、ふと心に引っかかった場面を取り上げて作品にしています。



地元クリエイターのデータベース「クリエイターズHUB」
あなたも HUB 登録しませんか?
登録無料!

CCCNEWSアーカイブを
ホームページに掲載中!

これまで2016年から発行してきた CCCNEWS をこちらの QR コードよりご覧いただけます!



CCC NEWS

10 OCT. → 12 SEP. スケジュール

- 未来茶会展..... 10月16日(日)~11月20日(日)
- クリスマス・プロジェクションマッピング..... 11月26日(土)~12月25日(日)
- CCC公募展入選者展覧会第三弾..... 11月26日(土)~12月25日(日)

1F 煌ゆり「鳥の歌よりパンがいい」 2F たいいりょう・山本薫夫「ふたつの景色」

※予定は変更になる場合がございます。詳しいスケジュール、内容は順次HPでご案内します。